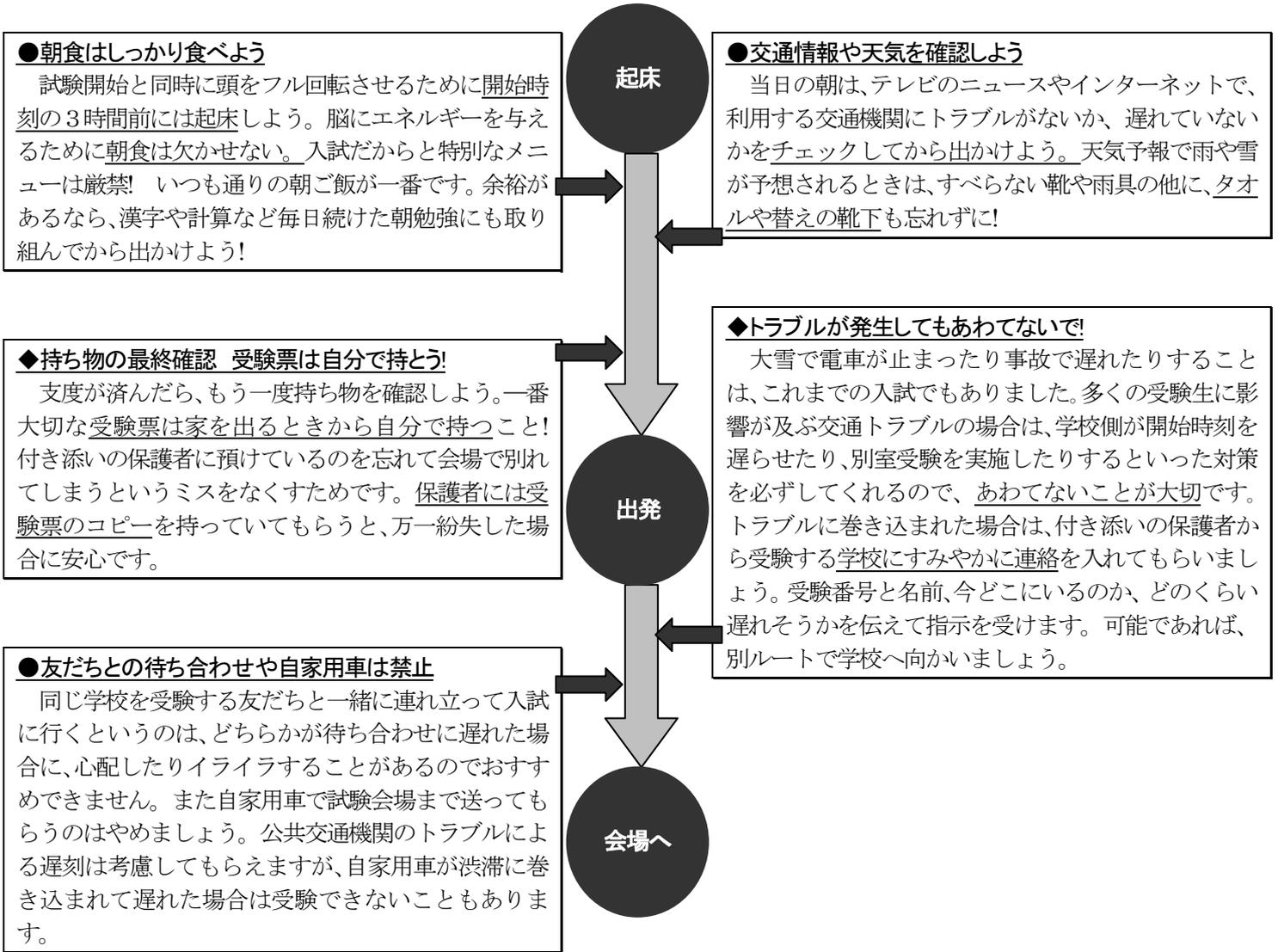


入試当日の“あんしん”行動ガイド

当日、朝から会場に着くまでのチェックポイント!



◆ 前日にそろえよう! 持ち物チェックリスト ◆

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 受験票
(透明ケースなどに入れると雨でも安心) | <input type="checkbox"/> 財布・テレフォンカード・Suica またはPASMO
(保護者とはぐれた場合に備える) |
| <input type="checkbox"/> 学校までの経路
(出口番号なども控えておくとう迷わない。予備の経路も調べておく) | <input type="checkbox"/> 上履き・靴入れ
(学校の指示に従い必要な場合は持参) |
| <input type="checkbox"/> 緊急連絡先メモ
(受験校の電話番号や保護者の携帯番号など) | <input type="checkbox"/> 弁当・水筒
(弁当不要でも飲食可の場合は乾燥防止にお茶を持参) |
| <input type="checkbox"/> 筆記用具
(鉛筆は輪ゴムでまとめて。消しゴムは2~3個) | <input type="checkbox"/> 防寒具・カイロ
(手袋、マフラー、帽子など、寒さ対策をしっかり) |
| <input type="checkbox"/> 定規・コンパス・下敷き
(学校の指示に従う) | <input type="checkbox"/> 雨具・靴下
(雨の時は学校に着いたらぬれた靴下を履き替える) |
| <input type="checkbox"/> 腕時計
(計算機能やアラームなしのシンプルなもの) | <input type="checkbox"/> 参考書
(持ち込み禁止の学校もあるので注意) |
| <input type="checkbox"/> ハンカチ・ティッシュ
(雨の日は小さめのタオルも便利) | <input type="checkbox"/> お守り
(持っているとう安心できるものを) |

試験会場に着いてから試験終了までのチェックポイント!

●待ち合わせ場所の確認

試験終了後は、校門付近などが待ち合わせの保護者と受験生でとても混み合います。寒いなかを探し歩くことがないように、学校に着いたらわかりやすい待ち合わせ場所を決めてから保護者と別れましょう。特にそのまま午後入試に向かう場合などは要注意です。

会場へ到着

●応援の先生方と握手して勇気をもらおう

入試の朝は、学校の入り口近くで塾の先生方が激励をしていることもあります。先生を見かけたら積極的に激励してもらいましょう。温かい励ましや力強い握手で勇気をもらい、落ち着いて試験にのぞめたと先輩もたくさんいます。

◆忘れ物に気づいたらどうする?!

受験票や上履、筆記用具など受験に必要なものを忘れてきたことに気づいた場合は、近くにいる係の先生にすぐに申し出ましょう。受験票を再発行してくれ、忘れたものは貸し出してくれるはず。万が一忘れても、ほとんどの場合、きちんと伝えれば学校がしっかり対応してくれますので、安心してください。また、試験前や試験中に急に気分が悪くなったり、お腹が痛くなったりした場合には、手を挙げて係の先生に伝えましょう。保健室で受験して合格した先輩もいるので、ガマンしすぎないこと。トイレに行きたくなった場合も同様です。

教室へ入室

◆コートやジャンパーは忘れず脱ごう!

試験会場は暖房で暑いことがあります。緊張のあまり上着を着たままでは、顔は真っ赤で頭がボーッとしてしまいます。会場に入ったらず上着を脱ぐことを忘れずに!

◆席を確認したらトイレに行こう

受験番号で指定された教室に入室して自分の席を見つけたら、次はトイレの場所を確認しよう。休み時間は混み合うこともあるので、試験開始の前に必ず一度はトイレを済ませておくこと。

●落ち着いて問題に取り組もう

試験が始まったら問題をざっと見て、過去問で鍛えたとおりに得意な問題から手をつけましょう。問題文を最後までしっかり読む、答え方の指示にきちんとしたがう、単位を忘れないなど、先生から注意されたことを思い浮かべながら、ねばり強く解いていけば大丈夫!

試験開始

●休み時間は次のテストへの準備に

1つの科目が終わっても、近くにいる友だちと「できた?」などおしゃべりしないこと。トイレをすませたり、軽く体をほぐしたりしつつ、次の科目のテキストを見るなどして静かに準備をしましょう。飲食が可能な場合は、持参したお茶などで一息入れるのもおすすめです。

試験終了

午後入試へ

●移動や昼食はゆとりを持って

午後入試を受ける場合は、午前の学校と午後の学校間の交通経路を調べ、どのくらい時間がかかるか、どの出口を利用すれば便利かなどを事前に確認しておきましょう。昼食は午後入試校の近くにいってからとるのが安心です。出願の際を利用して、あらかじめお店なども決めておくとあわてずに済みます。

帰宅

●明日へ備えて早めに休もう

2月の入試は、毎日試験が続くハードなスケジュールになります。慣れない混雑した電車に乗って出かけ、緊張の中で試験を受けるという体験は、想像以上に疲れるものです。この期間は、なによりもまず身体を休めることが優先です。今日の試験のことは忘れて、明日の持ち物をチェックしたら早めに就寝しましょう。

◆不安解消&気持ちリセット

「今日の試験はバッチリだ!」という場合はともかく、「ダメだ、できなかった」と感じている人はぜひ塾に顔を見せてください。特に翌日以降も試験があるという場合は、ひとりでクヨクヨと考えないで、気持ちをリセットすることが大切です。塾には同じように頑張っている仲間と先生がみなさんを待っています。不安な気持ちを話してスッキリすれば、明日以降へのパワーもきっとわいてくるはず!